

七夕豪雨で崩壊した白糸の滝の主瀑：地学散歩(11)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-09-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小川, 賢之輔 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00025707

七夕豪雨で崩壊した白糸の滝の主瀑

地 学 散 歩 (11)

小 川 賢之輔*

台風 8 号が梅雨前線を刺激したために発生した 1974 年 7 月 7 日のいわゆる七夕豪雨は、富士火山周辺域にも幾つかの爪跡を残していった(その 2; 30 号参照)。

このときの芝川の増水によって、白糸の滝の主瀑から約 5 m 離れた位置を占めて並んで懸っていた、支瀑の落ち口が小崩壊して、水位が約 50 cm 下ってしまった。そのために主瀑の懸瀑が止り、主瀑の座を奪われたのみならず、仮死の状態になってしまった。

その結果、白糸の滝の景観に大きな変化を生じ、「滝の復元」をめぐる、その是非両論が、今もお結着を見ないままに尾を引いている。

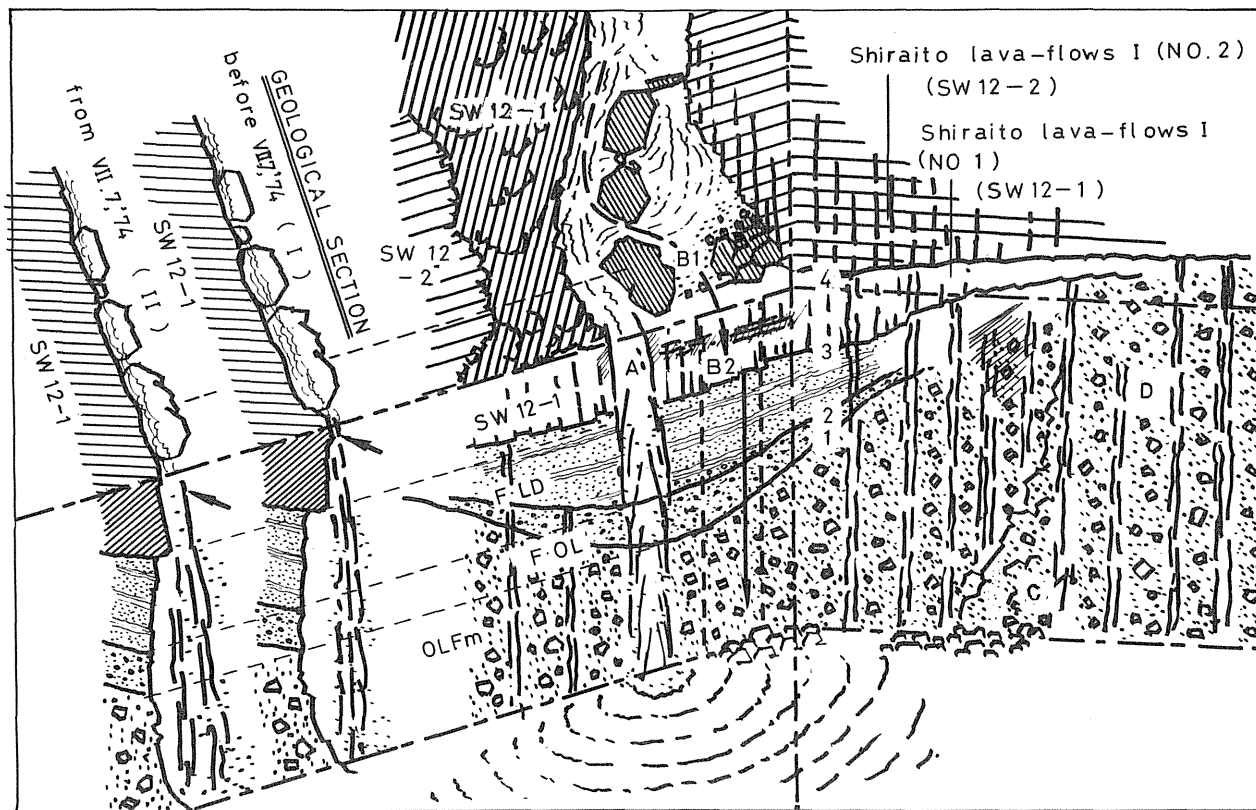


Fig. 1 GEOLOGICAL BIRD-EYE VIEW OF SHIRAITONOTAKI

OLFm : Volcanic sand, and lapilli and mud-flows. F·OL : Fan deposits on old lavas.

F·LD : Lake type deptsits. SW 12-1 : lowest layre of Shiraito lava-flows I. SW12-2 :

second layre of Shiraito lava-flows I. 1-2-3-4: boundary. A: main current, from

TANABATA GŌU, VII. 7, 1974. B1·B2 : main current, before TANABATA GŌU.

ここでは、あまり人に知られていない、白糸滝群のその他の滝をも紹介する。(15 ページ: 小川賢之輔、閑人閑語、参照)

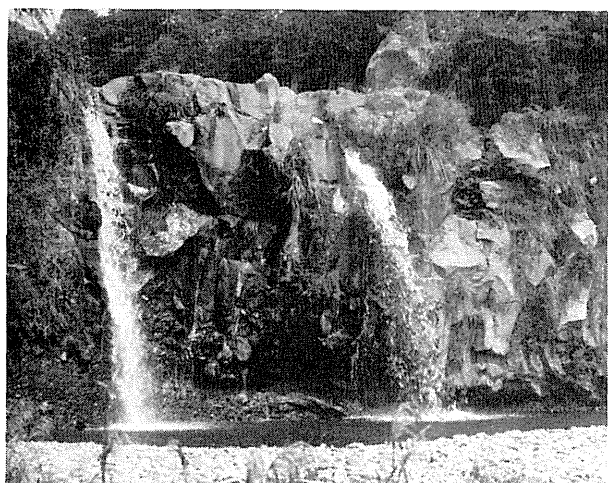
* 富士市



七夕豪雨以後の白糸の滝：1975年



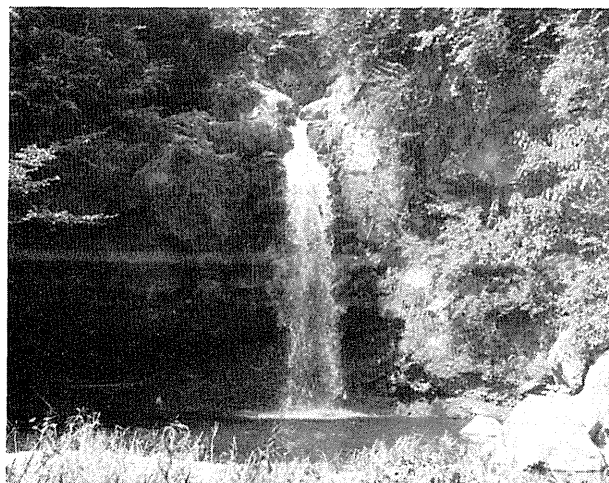
七夕豪雨以前の白糸の滝：1972年



牛淵の滝



神棚淵の滝



朴の木淵の滝



音止めの滝